

平成24年産 紀南のみかん産地情報

2012/07/27

1. 開花～着果状況

3月中頃から4月にかけては気温が平年に比べ低く推移したため、満開日は早生で5月10日となり、前年より5日早く、平年より3日遅れのスタートとなった。



7月24日の定点着果量調査では、極早生の着果は33.4果（前年比159%、平年比117%）となり、過去10年では3番目に多くなった。

早生では22.5果（前年比106%、平年比93%）となった。（直径3cmの調査枝）

2. 果実の肥大・品質

7月20日時点の肥大は、日南1号・早生共に平年に比べやや小さく、現時点の生育は6～8日程度遅れている。糖・酸度共に平年より高く品質は良好である。

品目	平 年			24年産		
	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%
日 南	38.6	4.13	7.0	35.3	4.40	7.3
早 生	36.1	4.15	7.0	33.1	4.39	7.1

3. 品質向上対策

現在、果実品質向上のため、小玉果の粗摘果やマルチ被覆・フィガロン散布の啓発を行っている。また、味・外観を向上させるため、着果の多い極早生の摘果は8月中旬までに、早生では9月下旬～10月上旬までに仕上げ摘果を進める。

4. こだわりグループの取り組み

今年で8年目の「極早生のこだわり」は、79名が参加し日南1号7.8ha、上野早生3.9ha、5年目の「早生のこだわり」は、31名5.8haで取組んでいる。

グループでは、7月下旬～8月上旬にかけて、第一回目の園地巡回と品質検査を計画しており、生産者一丸となって高品質生産に取り組む。

5. 今年産の生産予想量（7月27日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比予想量
極早生	209.4	3,436	103%
早 生	460.7	6,445	79%
全体(普通含む)	674.0	9,921	86%